



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月27日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社

コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 久田宗弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 鎌田清孝

TEL 03-5764-5214

四半期報告書提出予定日 平成26年7月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	118,233	6.4	6,500	27.8	6,505	23.7	3,915	20.9
26年2月期第1四半期	111,127	△2.9	5,087	△11.6	5,260	△10.3	3,237	△7.5

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 3,990百万円 (8.8%) 26年2月期第1四半期 3,666百万円 (20.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	28.32	—
26年2月期第1四半期	23.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年2月期第1四半期	358,695		154,370		43.0	
26年2月期	333,937		151,743		45.4	

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 154,370百万円 26年2月期 151,743百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年2月期	—				
27年2月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	229,500	2.6	11,100	3.5	11,000	2.7	6,500	2.2	47.03
通期	444,100	2.3	17,500	4.9	17,300	4.7	10,300	0.8	74.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	139,808,949 株	26年2月期	139,808,949 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	1,540,899 株	26年2月期	1,585,409 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	138,240,418 株	26年2月期1Q	140,673,618 株

(注) 自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
商品別売上情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策、金融政策を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、新興国の成長鈍化、欧州情勢による景気下振れリスクなど、先行きについては不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、消費税増税に伴う駆け込みによる特需がありましたが、その反動減の影響などにより、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については4店舗を実施いたしました。これにより当連結会計期間末日現在の店舗数は536店舗（カーマ136店舗、ダイキ161店舗、ホームマック239店舗）となりました。

販売面においては、3月は消費税増税に伴う駆け込み需要による影響で日用消耗品やペットフード、自転車などが好調に推移しました。4月以降については、消費税増税による反動減の影響はありましたが、気温の上昇と共に園芸用品が好調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は1,182億3千3百万円（前年同期比106.4%）、営業利益は65億円（前年同期比127.8%）、経常利益は65億5百万円（前年同期比123.7%）、四半期純利益は39億1千5百万円（前年同期比120.9%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸・エクステリア部門

園芸用品では、期間を通して天候に恵まれたことで、特に北海道エリアを中心に植物や肥料、除草剤のDCMブランド新商品が好調に推移しました。エクステリア用品では、消費税増税に伴う駆け込み需要により、物置の販売を中心に好調でした。その結果、売上高は237億3千4百万円となりました。

② ホームインプルーブメント部門

工具用品では、消費税増税に伴う駆け込み需要により、専門店や大型店を中心に電動工具などの高単価品から作業工具の小物まで全般的に好調でした。また、天候に恵まれたことにより、屋根用塗料を中心とした塗料や塗装用品が好調でした。その結果、売上高は202億4千1百万円となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

サイクル用品では、消費税増税に伴う駆け込み需要と新生活需要が重なり、パンクしない自転車や電動自転車が好調でした。ペット用品では、ペットシーツや猫砂などの消耗品や専門食などの高単価品を中心に好調に推移しました。レジャー用品では、天候に恵まれたことにより、木炭やクーラーボックスが好調でした。その結果、売上高は172億6千4百万円となりました。

④ ハウスキーピング部門

日用品では、消費税増税に伴う駆け込み需要により、3月は洗剤や紙類、清掃用品などの消耗品を中心に非常に好調でした。4月以降はその反動減により売上が伸び悩みましたが、新商品や季節商品を中心に回復基調にあります。その結果、売上高は310億4千7百万円となりました。

⑤ ホームファニッシング部門

インテリア用品では、消費税増税に伴う駆け込み需要と新生活需要が重なり、カーテンやラグ、クッションなどの売上が好調でした。家具収納用品では、PC収納企画で導入した新色の収納ケースなどが好調に推移しました。その結果、売上高は88億1百万円となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

家電用品では、消費税増税に伴う駆け込み需要のほか、昨年からの取組みを強化している電設資材の売上が好調でした。また季節品では、昨年より気温が低い状況が続くなか、取扱い店舗を増加したエアコンの販売が好調に推移しました。その結果、売上高は101億8千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、当年5月31日が金融機関休業日であったため現金及び預金が増加したこと、また新規4店舗の出店などにより有形固定資産が増加したことや、季節的要因により商品在庫および売掛金が増加したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して247億5千8百万円増加し、3,586億9千5百万円となりました。

負債残高は、季節的要因や金融機関休業日の影響により買掛金が増加したことなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して221億3千2百万円増加し、2,043億2千5百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いや四半期純利益の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して26億2千6百万円増加し、1,543億7千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月9日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,049	27,958
受取手形及び売掛金	4,098	6,553
リース投資資産	2,417	2,396
商品	81,980	86,239
繰延税金資産	1,296	1,075
その他	6,343	6,121
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	108,184	130,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	163,550	166,029
減価償却累計額	△92,279	△93,175
建物及び構築物 (純額)	71,270	72,854
土地	73,711	75,141
リース資産	8,844	9,368
減価償却累計額	△982	△1,097
リース資産 (純額)	7,862	8,271
建設仮勘定	1,897	1,682
その他	25,839	26,639
減価償却累計額	△19,447	△20,057
その他 (純額)	6,392	6,582
有形固定資産合計	161,135	164,531
無形固定資産		
借地権	5,918	5,922
ソフトウェア	3,397	3,182
その他	201	202
無形固定資産合計	9,517	9,308
投資その他の資産		
投資有価証券	8,605	8,712
敷金及び保証金	41,061	40,414
繰延税金資産	1,371	1,306
長期前払費用	2,942	2,823
その他	1,178	1,314
貸倒引当金	△59	△60
投資その他の資産合計	55,099	54,510
固定資産合計	225,752	228,350
資産合計	333,937	358,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,613	67,567
短期借入金	50,300	51,250
1年内返済予定の長期借入金	17,359	15,585
リース債務	208	226
未払法人税等	3,055	2,360
賞与引当金	1,522	1,520
ポイント引当金	365	381
その他	10,601	14,670
流動負債合計	128,026	153,563
固定負債		
長期借入金	34,934	31,238
リース債務	8,470	8,921
繰延税金負債	796	803
再評価に係る繰延税金負債	209	209
退職給付引当金	52	54
資産除去債務	1,337	1,357
長期預り金	5,362	5,298
負ののれん	65	57
その他	2,940	2,822
固定負債合計	54,166	50,762
負債合計	182,193	204,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	41,603	41,603
利益剰余金	101,265	103,798
自己株式	△646	△628
株主資本合計	152,221	154,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,455	1,524
繰延ヘッジ損益	△8	△2
土地再評価差額金	△1,925	△1,925
その他の包括利益累計額合計	△478	△402
純資産合計	151,743	154,370
負債純資産合計	333,937	358,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	109,734	116,745
売上原価	77,170	81,147
売上総利益	32,564	35,598
営業収入		
不動産賃貸収入	1,392	1,487
営業総利益	33,957	37,086
販売費及び一般管理費	28,869	30,585
営業利益	5,087	6,500
営業外収益		
受取利息	65	64
受取配当金	94	46
為替差益	195	49
補助金収入	57	106
その他	77	93
営業外収益合計	489	359
営業外費用		
支払利息	309	342
その他	7	11
営業外費用合計	317	353
経常利益	5,260	6,505
特別利益		
固定資産売却益	2	—
退職給付制度終了益	103	—
特別利益合計	106	—
特別損失		
固定資産除売却損	63	94
減損損失	46	—
その他	5	16
特別損失合計	115	111
税金等調整前四半期純利益	5,250	6,394
法人税、住民税及び事業税	1,280	2,227
法人税等調整額	732	251
法人税等合計	2,012	2,479
少数株主損益調整前四半期純利益	3,237	3,915
四半期純利益	3,237	3,915

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,237	3,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	432	69
繰延ヘッジ損益	△3	5
その他の包括利益合計	428	75
四半期包括利益	3,666	3,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,666	3,990
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	33,084	28,899	49,097	46	111,127	—	111,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	12,453	12,455	△12,455	—
計	33,084	28,900	49,098	12,499	123,582	△12,455	111,127
セグメント利益	1,637	987	2,245	2,284	7,155	△2,067	5,087

(注) 1. その他は、DCMホールディングス㈱における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△2,067百万円には、セグメント間取引消去△2,077百万円、その他10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	34,909	29,556	53,661	105	118,233	—	118,233
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	0	12,658	12,660	△12,660	—
計	34,909	29,557	53,662	12,764	130,894	△12,660	118,233
セグメント利益	2,057	1,156	3,282	2,221	8,718	△2,217	6,500

(注) 1. その他は、DCMホールディングス㈱における取引等です。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

4. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自平成25年3月1日 至平成26年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	22,564	20.5	23,734	20.3	66,410	15.5
ホームインプルーブメント	18,929	17.2	20,241	17.3	75,686	17.7
ホームレジャー・ペット	16,564	15.1	17,264	14.8	63,862	14.9
ハウスキーピング	28,953	26.4	31,047	26.6	118,864	27.7
ホームファニッシング	8,317	7.6	8,801	7.6	32,778	7.7
ホームエレクトロニクス	9,402	8.6	10,180	8.7	47,628	11.1
その他	5,003	4.6	5,474	4.7	23,092	5.4
合計	109,734	100.0	116,745	100.0	428,324	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、住宅設備、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他